

2019年度 埼玉県理容美容専門学校 自己点検評価委員会議事録

【日 時】2020年7月30日（金）09:00～11:00

【会 場】埼玉県理容美容専門学校 3階 会議室

【委 員】 評価委員 4名

委員長／校	長	高野 春夫
事 務 長		浦野 智子
経営企画部長		島田 美紀
教務副課長		遠藤 昌宏
教務副課長		本橋 孝則

1 開会の辞（校長 高野 春夫）2019年度 自己点検評価委員会を開催することを宣言した。

2 校長挨拶（校長 高野 春夫）

学校の「自己点検評価」に対して真摯な態度で臨みかつ公正な評価を行い、今後の学校活動に有益な意見交換を求める。

3 審議事項

①「1.学校の教育目標」についての審議

校長 / 基本の目標は変わらないが、目標達成の為にはその方法論を再検討し時代に即したものとする必要もあると考える。

②「2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」

校長 / 高校生の減少や進学トレンドの変化に対応するため、新たなブランディングを進めるため、2022年には新校舎の竣工が計画されている。

③「3.評価項目の達成及び取組状況」については、各項目につき、前年度との比較検証をしながら評価を行う。

1) 教育理念・目標

校長 / ①学校としての教育目標である本校の理念・目的・育成人材像は、理容・美容それぞれの特性も含めて明確にしている。「5」が妥当と考える。

島田 / ②本校における教育は、理容師・美容師資格の取得へ向けた教育が中心であり、国家試験合格率や就職率などに鑑みて「5」が妥当と考える。

③計画中の新校舎において、卒業後にサロンで即戦力となる人材育成に向けて、実店舗型の実習室を備え卒業生を中心に現場の技術を体験できる講師の確保を進めている。④本校の理念・目的・特色等は、高等学校の進路指導部との連携をより深めるとともに、高校でのガイダンス及び体験入学の時、保護者に対しても保護者向け説明会の時等、入学前から機会を設けて、その都度説明している。また、入学式後にも、学生・保護者それぞれに対し説明の場を設け、周知するようにしている。この2点については「5」が妥当と考える。

校長 / ⑤教育目標や育成人材像等については、業界団体（理容組合・美容組合）その他からのニーズにも対応しながら、意見交換を行いより広く社会のニーズに応えるように産業界との授業連携も実施できた。改善が図られたので「5」が妥当と考える。

2) 学校運営

校長 / ①本校の教育目標、及び年度ごとに定められた重点的に取り組むべき目標や計画の実現に向けて、運営方針を策定し、これに対応したカリキュラムを実施しているので「5」が妥当と考える。

浦野 / ②各年度の事業計画は、上記の運営方針に従って各部署で立案、それを基に各部署のリーダーによるリーダー会議において学校全体の年度計画として策定している。また運営にあたっては理事会・評議員会の承認を得た上で実施している。「5」が妥当と考える。③運営組織や意思決定等については、寄附行為やその他の規程等により定められ有効に機能しているが各理事の役割の明確さは今後の課題であるので「4」が妥当と考える。④人事、給与に関する規程等の整備状況は、就業規則や給与規程等により定められ、教職員にも周知されている。「5」が妥当と考える。⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているかについても③と同様に寄附行為や学則その他により定められているとおりで。「5」が妥当と考える。⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の整備は就業規則にも定めているが、教職員の周知徹底については意識改革の必要があり「4」が妥当な現状と考える。

島田 / ⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているかについては、ホームページや学校案内等により情報を公開している。情報公開の程度を改善したので「5」が妥当と考える。

⑧学籍データ等のシステム管理を進めているが、教職員のネットリテラシーは充分ではない。「4」が妥当と考える。

3) 教育活動

島田 / ①教育課程の編成や実施方針は教育理念や目標に沿って策定している。②シラバスと年間カリキュラムの編成について明確化が図られたが、補講・補習などの時間外の学びについては改善中であるので「4」が妥当と考える。

③学生が効率よく学べるよう体系的に編成しているので「5」が妥当と考える。

- 遠藤 / ④業界のニーズや学生本人の希望を考慮し、より実践的な職業教育のために現職の理容師・美容師が現場の活きた技術も教授している。今後はいっそうの充実を図りたいので「5」が妥当とする。
- 浦野 / ⑤教育課程編成委員会を設置し、2019年度は委員会での審議（年2回開催）を通して、カリキュラムや教育内容の見直しを実施している。「5」が妥当と考える。
- 本橋 / ⑥通常の授業での実習と合わせ、実務実習として実際の理容・美容サロンの協力の下での実習を、1年次春期（実働7日間）及び2年次夏期（実働12日間）に行い、その体験をフィードバックする予定であったが、2021年3月の実務実習は「新型コロナウイルス感染症」対策のため実施できなかったことにより、「4」が妥当とする。
- 校長 / ⑦教育課程編成委員会を設置し、委員会での審議を通して、授業評価を実施し毎年度授業内容を検討・見直しも行っているので「5」としたい。⑧学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会を設置し、両委員会での審議を通して、職業教育に対する外部評価を実施している。また、1年次では社会福祉、日本文化、毛髪科学、2年次では総合技術の授業を設け職業実践教育に対する評価も得ている。よって「5」が妥当とする。
- 遠藤 / ⑨成績評価や進級・卒業の判定については、学習評価規程を設け、それを基に行っているので「5」が妥当と考える。
- 校長 / ⑩体系的なカリキュラムを編成して、理容師・美容師資格の国家試験前には、実技及び学科の試験対策も実施している。また、エステやメイク、ネイル等その他の資格についても、通常のカリキュラムの中で対応するとともに、希望者には、必要に応じて講習会を開く等、資格の取得を奨励している。「5」が妥当と考える。
- 浦野 / ⑪教職員のSDを推進して資格・経験・知識や技術等を有した教員を確保できたので「5」とする。
⑫業界団体（理容組合・美容組合）や、卒業生から優れた経験や技術を有した現役の理容師・美容師を講師として確保する等、業界との連携によるマネジメントを行っている。この項目は「5」が妥当と考える。
- 校長 / ⑬資質向上のためSDを計画的に実施している。⑭自主的に受講しようとする教職員には、その費用を助成している。2点について現状「5」が妥当と考える。

4) 学修成果

- 島田 / ①理・美容のサロンを中心に、資格を活かして有利な就職が期待できる美容系のサービス等の就職先を確保している。現在約2000件の求人登録がある。また、理・美容サービスに特化した求人サイトについても取り扱い、学生が自由に職業選択ができる環境づくり

に取り組んだ。学生個々の相談に対するニーズに応えるため次年度は、キャリア指導の専門員の増員を予定しているが就職しない学生も散見されたため「4」が妥当と考える。

本橋 / ②学修意欲や資格取得へのモチベーションを維持、向上させるよう、クラス担任制を用いて指導している。また、国家試験前には、事前講習会等も実施し、全員合格へ向けた試験対策も行っている。その他エステやメイク、ネイル、化粧品検定等の資格についても、希望者には必要に応じて講習会を開く等のサポートを行い、いずれも平均を大幅に上回る合格実績を出している。」③学生の状況はクラス担任により把握され、何か問題が生じた場合にも、早期の対応が可能となるような態勢をとっている。特に、欠席などの状況に応じて、本人及び保護者とも即座に連絡を取り、学習意欲、生活習慣の見直しなど、保護者との密接な連絡や協力を得ながら、退学の防止に取り組んでいる。「5」が妥当と考える。

島田 / ④在校時にキャリア支援をすることによって、卒業後も離職や転職相談などで来校する卒業生が増加している。既卒者から直接に情報を得て、サロンオーナーになった者、都内で有名店の店長になった者等、各分野で活躍している卒業生についてデータ化を進めているので「5」が妥当と考える。⑤卒業後も、目的を持ったキャリア形成が継続できるよう、「就職ゼミ」活動を教員有志で立ち上げた。サロン実習や就職フェア、各種ボランティアを行い常に教育を改善している。「5」が妥当と考える。

5) 学生支援

島田 / ①社会科学、サロンワークなどの授業で学生の職業観を深め、自主的な就職活動を促している。就職フェアへは1年次から参加させて意識を高め、2年次にはさらに個別指導や相談を行う等の継続的な活動を継続して実施している。また、求人情報をデータ化し、学生たちがいつでも検索できるよう開示している。「5」が妥当と考える。②クラス担任と学生支援室によるコーチングとコンサルティングに加えて、カウンセリングの要素を持った学生指導に努めている。「5」が妥当と考える。

浦野 / ③学費については、日本学生支援機構の奨学金や国の教育ローンその他、本校と金融機関との提携ローンを活用する等、学生への経済的な支援体制を設けている。また、様々な事情がある学生に対しては、担当者が個別に、その状況に応じた対応を行っている。今年度からは、「無償化」実施に向けての対応も準備し、学費減免規程も施行した。通信課程では教育訓練給付金等の公的資金援助等も含め、さらに経済的な支援体制の整備を図っている。「4」が妥当と考える。④毎年4月に健康診断を実施し、学生の健康状態を管理している。日常的には事務室に常備薬を置き保健室にて対応し、病院への連絡態勢も整えも提携する医療機関との連携を密にしている。「4」が妥当と考える。

遠藤 / ⑤地域社会との交流を深め、理容・美容の技術を活かしたボランティア活動に多くの学生が積極的に参加している。また、大型

商業施設での七夕イベントやハロウィンイベントへの参加やサッカー場での来場者へのボディペインティング、地域の商店街のイベントへの参加等、個々の職業観を高められる取り組みや、課外活動への直接支援により職業実践的な支援を独自に行っている。

「5」が妥当と考える。

浦野 / ⑥おもに経済的なバックアップとして、FPによる相談を実施し、必要に応じて理容・美容関連のアルバイト等も紹介している。「4」が妥当と考える。

本橋 / ⑦保護者説明会などを通じて、資格取得や就職などへの理解を深めて信頼関係を築けるよう計画している。保護者会を設けて学校と保護者との連携を密にし、会合では学生の現況や今後の学校の方針についての説明だけでなく、保護者からの質問や意見も取り上げている。また、年2回の定期試験後の成績表の送付や、学校行事の通知等、日常的にも保護者との連絡を取っている。特に、学生に何か問題が生じた場合には、即座に保護者と連絡を取り合い、連続した欠席の生じた場合は早期に保護者へ連絡するなど、早期に適切な対応を行えるように留意している。「5」が妥当と考える。

島田 / ⑧卒業生へのキャリアコンサルティングを充実させ、進路変更や再就職等多岐に亘る相談にも対応している。現在は、卒業生が来校しなくてもタイムリーに相談できるよう、WEBでの対応を実施し周知も広がっている。「5」が妥当と考える。

遠藤 / ⑨社会人としての基本的な社会常識やビジネスマナーについても修得させている。昼間課程の入試については、社会人がチャレンジしやすい日程や内容となるよう改善が図られた。「5」が妥当と考える。

島田 / ⑩県内の高校を中心に、説明会や模擬授業等を行う他、学校施設の見学等も受入れている。また、高校の要望により職業人としての講演依頼や、インターンシップ事業にも協力している。講演内容は、卒業生講話、就職講演、面接指導等であり、相互に職業実践的な取組を維持している。「5」が妥当と考える。

6) 教育環境

浦野 / ①施設や設備については、教育上の必要性に応じて整備しているが、今後の教育環境の充実を図り2022年4月からは新校舎に移転の予定である。現状は「4」が妥当と考える。

本橋 / ②実務実習は1年次春期及び2年次夏期に、理容・美容サロンでの研修を行っていたが、1年次春期は「新型コロナウイルス感染症」の対策として中止とした。また、各自のサロン見学（夏期（大型店・中型店・小型店等）冬期1店舗）は通常通り実施した。、2年次に実施する国内研修旅行（関西方面）においても、事前学習等の準備をした上で、観劇及びテーブルマナー等の研修を行っている。「5」が妥当と考える。

浦野 / ③毎年防災訓練を実施し、災害時の対応や避難経路の確認等を行っている。また、学生・教職員を含め、災害時の帰宅困難者等の発生も予測し、計画的に備蓄品を整備している。「4」が妥当と考える。

7) 学生の受入れ募集

島田 / ①継続的に県内及び県外の高等学校を訪問し、学校の情報開示と教育方針への理解を深めている。また学校案内や募集要項の記載内容、学生募集時期等は、関係諸機関との申し合わせ事項等に基づき、適正なものとなっている。募集活動においては、特に個人情報の安全かつ適正な取扱いに注意し、お互いの信頼関係に基づいた活動を行っている。②本校における教育成果については、学校案内やホームページ等にて公表している。また、高校生や保護者を対象とした説明会等においても、募集活動上必要な情報として、教育成果は正確に伝えている。2点については「5」が妥当と考える。

浦野 / ③ 学生納付金の金額は、通常徴収する学費等の全額を公表している。また、金額としても、本校の教育内容に鑑みて妥当なものと考えられる。「5」が妥当と考える。

8) 財務

浦野 / 財政基盤は安定しているが、長期的には学生数の減少も予測されるので、さらに安定した財政基盤づくりが必要となる為平成30年度より学費の改定を実施した。② 学校としての運営方針を基に予算・収支計画を策定し、必要に応じて補正予算も組んでいるが、いずれも評議員会・理事会の承認を得た上で執行している。また、2019年には新校舎予定地の買収を実施した。以上2点については「4」が妥当とかがえる。③会計監査は年1回、会計事務所立会いの下、監事2名により適正に行われている④ 埼玉県情報公開条例の規定に基づき、財務情報を公開している。以上2点については「5」が妥当と考える。

9) 法令等の遵守

校長 / ①関係法令や専修学校設置基準、及び理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則等を遵守し、適正な運営を行っているが第三者評価の実施に至っていないため「4」が妥当と考える。

浦野 / ②個人情報の取扱いについて、教職員に必要なネットリテラシーやICTスキルが不足している。より個人情報の保護を図るために今後は最低限の資格取得や講習が必要である。「4」が妥当と考える。③自己評価は毎年実施し、問題点については、関係部署にて協議の上、その改善策を立案し実施している。また、学校関係者評価委員会において外部評価も行い、問題点の把握に努めているので「5」が妥当と考える。④自己評価結果に併せて、学校関

係者評価委員会の結果について詳細をホームページ上で公開している。「5」が妥当と考える。

10) 社会貢献・地域貢献

遠藤 / ①県の事業に協力し、理容師・美容師希望の小学生を受入れ、体験学習を行っている。地元商店街や商業施設からの、ハロウィンのイベントにおけるメイク協力依頼等、理容・美容の技術を活かした学生へのボランティア活動依頼が増えている。清掃活動、7月の鳩ヶ谷浴衣祭り、埼玉国際マラソン及び浦和レッズサポーターへのヘアメイクのボランティアに参加した。学校としては、特に安全面や個人情報流出に留意しながら、地域や社会貢献の一環として、その活動を支援している。②この2点は「5」が妥当と考える。③高校からのインターンシップ事業への協力依頼を受け、今年度も2校から希望者を受け入れ、職業訓練教育を実施している。また、地域の公開講座や鶴岡八幡宮、高校へのメイク講座等の講師として、教員の派遣依頼も受けている。「5」が妥当と考える。

「4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果」

校長 / 以上、各項目の評価点を承認いただきたい。

挙手により全員一致で承認される。

全課、全学年の副担任制をとる事により、細やかな指導が実施できた。結果として安易な退学が減少し、休学者の復学もあった。職員研修については、意識改革には一助があったと認められるが、研修自体を目的とせず研修の結果、何が改善できたのかのフィードバックを重視するように努力を重ねたい。

職員の資質向上については、到達レベルを設けて達成率を明らかにする事を管理者にも課していく必要があると考える。

以上について、報告書を学校関係者委員会による学校評価委員会に提出し、結果をホームページ上に公開することを確認し、閉会とする。

以上

2020年7月30日(金)